

「石破新政権とメディア」メディアで誕生した政権がメディアによって蘇生できるか？

客員研究員 倉重篤郎

●石破茂という人物

◇2つのファザコン

- ・父二郎の圧倒的影響力 知事という地方権力のメディア支配
- ・角栄の栄枯盛衰の目撃者 メディアとの攻防

◇そもそものメディア志向

- ・中学生時代から「諸君」「文芸春秋」といった論壇誌愛読
- ・就職時、読書と書くのが好きだから「朝日かNHK」 父「人の批判ばかり」

●政治家としてのメディア活用

◇政治改革の寵児として鮮烈デビュー

- ・弁舌、論争者としての素地 語彙力（幅広読書） 論理力（法律専攻）
- ・冷戦・バブル崩壊背景に政治論争テレビの興隆 田原氏から「君面白いね」

◇離党、復党の不遇時代→4度の総裁選挑戦

- ・ネット、雑誌などあらゆるメディアに顔出し メディア自転車操業
- ・安倍時代は長期政権批判者というポジション 総務会などでの発言報道
- ・サンデー毎日で定点観測

●5度目の綱取り挑戦とメディア

◇永田町力学的には不可

- ・派閥停止 鴨下一郎、古川禎久、斎藤健離脱 「もはやここまで」「斎藤隆夫に」
- ・番記者も散り散り（正月の会は継続） 永田町記者サークルの中では希薄化

◇裏金事件で環境変化

- ・政治改革の雄、安倍政治の批判者としての役回り復活
- ・岸田支持率低下 v s 石破トップ（メディア志向の成果） 各紙報道
- ・サンデー年末号インタ 石破が「死に体」岸田政局を斬る
- ・石破本（ヒューマンヒストリー）企画始動 集中取材

◇永田町力学における可能性

- ・山拓ら裏選対（今年5月） 小泉調整+岸田に勝てる メディア半信半疑報道
- ・サンデー7月号 「天命と向き合い最善を尽くす」「自民党と日本をどう変えるか」
- ・岸田退陣表明 雨後の竹の子政局の中で石破頭一つ（知名度 反安倍 バランス）
- ・20人の壁やっと 世代交代牽制のベテラン+反安倍-水月会中枢

- ・「保守政治家」出版・配布 一時ブーム
- ・国民人気+党員名簿調査政局 日テレ、読賣リード

### ●石破新政権とメディア

#### ◇ハードタッチ

- ・即解散戦略の誤算 前言撤回の数々 メディアを敵に（ハネムーンなし）
- ・少数与党ヨタヨタ節 予算と引き換え退陣論
- ・宰相イメージ劣化 組閣腹出し G20 スマホいじり 集合写真 食事作法

#### ◇ソフトタッチ

- ・石破引責報道薄し 政権維持優先 因果は安倍時代（裏金）という温情報道
- ・少数与党政権への前向き報道 政策別連立の面白味 国会活性化

### ●メディアによる葬送か蘇生か？

#### ◇永田町力学的には葬送行進曲

- ・3つの壁（国会運営、党内運営、トランプ）
- ・本人の弱気 メディアのハード対応に居心地の悪さ

#### ◇メディア力学的にはなお生き残りも

- ・3つの追い風（政治改革踏み込み 103万円の壁上手に突破 日中改善進展）
- ・2つのサプライズ 決算文書改竄真相 学術会議人事
- ・1つの政局舵取り 少数与党として政策別に上手に連立
- ・読賣調査（11～12日） 支持率43%（9ポイント上昇）、不支持率42%の意味